

この同僚議員の質問を聞き、疑問に感じたので、次の一般質問で私が質問をしたお答えがこのようになったのです。

## 私の基本的考え

1. 御成小の旧講堂、旧図書館、

北鎌倉の洞門の保存を！

2. 平和都市宣言の鎌倉です。

安保法制反対！

みんなのねがいバリアフリー



## 千一（せんはじめ）の議会における HOW TO (Q & A)

Q. 言葉がしゃべれない千一は、どうやって質問するの？

A. あらかじめ質問の文章を提出しておき、代読していただきます。

Q. その文章はどうやって書くの？

A. 「音声キーボード」を、左足の親指で叩いて、書き取ってもらいます。疲れて目が見えなくなると、書き取り者の手に、ひらがなで、一文字ずつ、足で書くのです。

Q. 足で?! 時間がかかるでしょうね。

A. 膨大な時間と労力がかかります。足が疲れると、読み取りにくくなり、一文字を理解するのに、何分もかかることも……。

Q. だれが書き取るの？

A. 特定の人を定めていません。過去15年間を通じて「手伝ってみようかな」というボランティアの方々が、声をかけてくださいます。文章は、千一が作ります。

Q. 「影の指導者」とかがいるのですか？

A. いません。大学時代や長いつきあいの友達、恩師たちが応援協力してくれますが、この人たちの多くは、藤沢市民、横浜市民です。普段は、一人で活動します。

Q. 登庁も一人で？

A. はい。毎朝、2時間半、介護のヘルパーに来てもらって、朝食や歯磨きの介助をしてもらうのですが、登庁の日は、スーツを着せてもらっています。

Q. お昼はどうするの？

A. 毎日、昼の1時間、ヘルパーに来てもらうのですが、登庁の日は、議員控室に来てもらい、昼食（コンビニのお弁当など）と、トイレの介助をしてもらいます。

Q. それ以外の時間のトイレは？

A. この15年間、議会の休憩時間など、トイレの件では、すごく大変な思いをしてきました。鎌倉市議会は、議員活動と生活介助とを機械的に分け、議会における議員の身体介助を議会事務局職員が行うことを禁止行為としているのです。他市（大阪府豊中市の車椅子議員）の実例などを考え、今後の課題として持ち越していこうと思います。

